



一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属
総合南東北病院

〒963-8563 福島県郡山市八山田七丁目115番地
<http://www.minamitohoku.or.jp/>

お問い合わせ・お申し込み

TEL.024-934-5415

総合南東北病院
外科専門医研修プログラム

目次

1 プログラムの使命・理念	p02
2 研修プログラムの概要	p03
3 専攻医の受け入れ数と症例数	p04
4 研修の具体例	p04
5 総合南東北病院(基幹施設)における手術件数	p05
6 病院長からのメッセージ	p07
7 専門医研修プログラム統括責任者からのメッセージ	p08
8 総合南東北病院の各専門科紹介	p09
9 後期研修医の声	p12
10 ジュニアメンターの声	p12
11 カンファランス	p13
12 教育環境・学会発表、論文指導について	p14
13 外科医に必要なコアコンピテンシー	p14
14 専門医研修の評価・フィードバック	p15
15 プログラム管理委員会	p16
16 専攻医の就業環境について	p16
17 修了判定	p17
18 採用について	p17
19 施設群の紹介	p18
20 院内・サービス施設など	p23
21 事業所内保育所	p24

プログラムの使命・理念

総合南東北病院外科専門医研修プログラム(以下、本プログラムとする)は、標準的かつ包括的な外科医療を学ぶ環境を提供し、将来的に臨床外科学の最新知識・スキル・テクニックを駆使して全人的な医療を実践できる専門医を育成すること、さらには、外科医の育成を通じて国民の健康長寿および社会福祉に貢献することを使命としています。

本プログラムの基本的理念

- ① 幅広い診療経験・知識の修得が出来る環境を提供する
- ② 問題解決を主体的に行うプロフェッショナルとしての姿勢を養わせる
- ③ サブスペシャリティ領域との連動および専攻医のキャリアパスを尊重する



研修プログラムの概要

本プログラムでのトレーニングは、総合南東北病院と11か所の連携施設により構成される専門医研修施設群で行います。

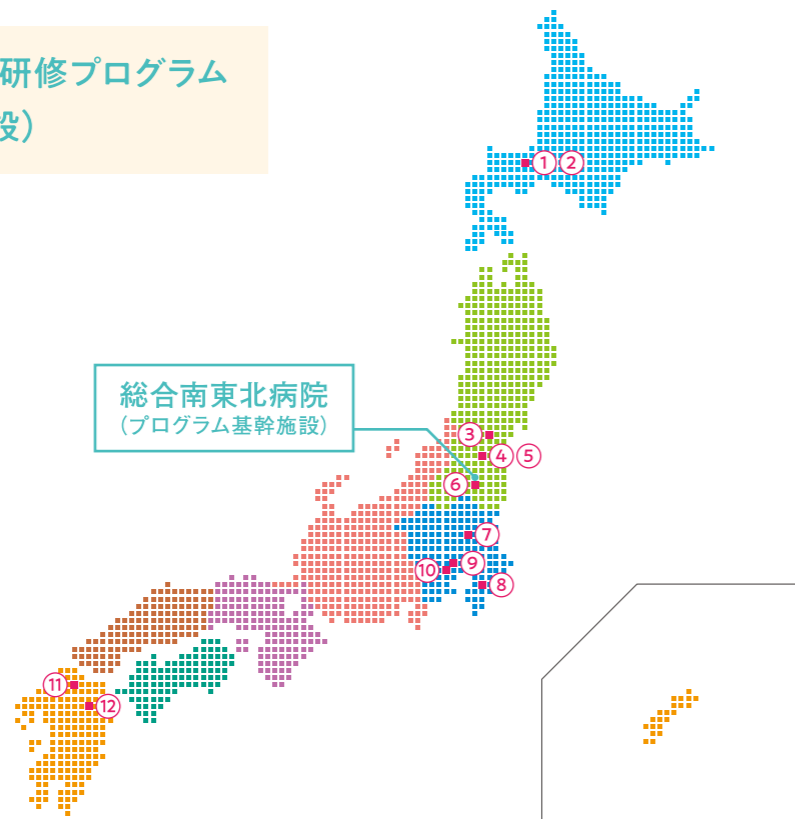
本プログラムの最大の特徴

1 バランスのとれた外科研修の提供 北海道から九州まで、最前線で地域医療を担うアクティビティの高い病院と連携することで、**地域や医局にとられないバランスのとれた外科研修**を提供する。

2 自由度の高い研修プログラム 各専攻医の希望に応じて**自由度の高いオーダーメイド式の研修プログラム**を組むことができる。

南東北病院専門医研修プログラム 連携施設群(12施設)

- ① 北海道大学病院
- ② 手稲溪仁会病院
- ③ 総合南東北岩沼病院
- ④ 福島県立医科大学病院
- ⑤ 総合南東北福島病院
- ⑥ 須賀川病院
- ⑦ 獨協医科大学病院
- ⑧ 亀田総合病院
- ⑨ 総合東京病院
- ⑩ 新百合ヶ丘総合病院
- ⑪ 麻生飯塚病院
- ⑫ 大分大学病院



POINT

基本的な研修期間は3年間とし、基幹施設である総合南東北病院では6か月間の研修を義務としています。残りの2年6か月は希望の連携施設を選択できます。3年以降にはサブスペシャリティ領域での研修を継続することも可能です。各連携施設はどれも豊富な症例数、信頼できる診療実績、熱意ある指導医に恵まれた全国有数の施設ばかりですので、安心して指導を委託できると考えています。



専攻医の受け入れ数と症例数

2021年度
専攻医募集定員

5名

連携施設群のNCD登録症例数

1717件 ※2018年

専門研修指導医数

16名

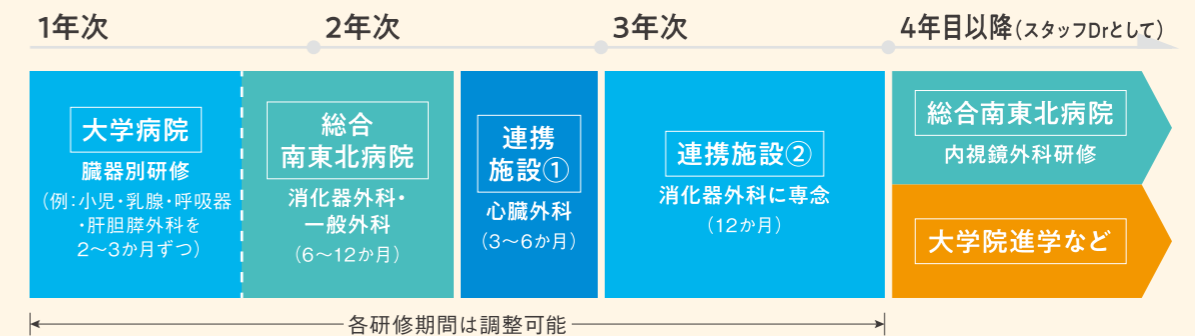
備考

ただし将来的なサブスペシャリティを念頭に各専攻医が十分な術者経験ができるように領域の重複を考慮して採用人数を制限することがあります。



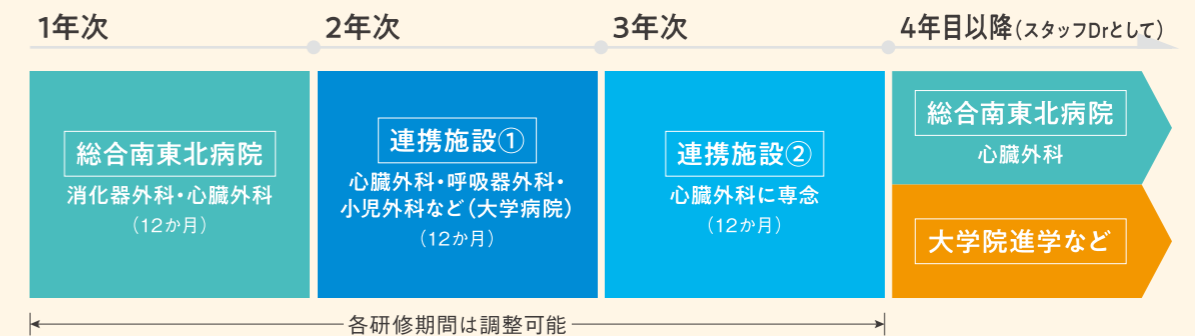
研修の具体例

研修例① 消化器外科志望者の場合



▶ 4年目以降のキャリアパスは希望に応じてできる限りサポートします。
例)引き続きサブスペシャリティ研修として内視鏡外科トレーニングを積み、大学院への進学・留学など

研修例② 心臓外科志望者の場合



本プログラムは2019年度から開始されますので、専攻医の正確な経験症例の実績は未だデータがありません。参考までに、総合南東北病院で過去に後期研修を受けた医師の経験症例数を提示します。専門医取得のために必要な経験症例数を十分に上回る実績があります。緊急手術が多く、若手の執刀チャンスが豊富にあること、胃癌・大腸癌などの開腹手術および腹腔鏡手術を多く経験できるのが特徴的です。

総合南東北病院(基幹施設)における手術件数

基幹施設の総合南東北病院では、様々な分野の手術について数多く経験できます。具体的な手術件数について示します。

平成30年度 手術件数

▶ 消化器外科

胃癌	126 例 (腹腔鏡下 91例)	大腸癌	200 例 (腹腔鏡下 162例)
胆嚢摘出術	155 例 (腹腔鏡下 139例)	鼠径ヘルニア	129 例 (腹腔鏡下 107例)
食道癌	11 例 (腹腔鏡下 9例)	肝切除術	50 例 (腹腔鏡下 7例)
		膵頭十二指腸切除術	24 例
		急性虫垂炎	88 例

▶ 心臓血管外科

心臓疾患	110 例	大血管疾患	103 例
末梢血管疾患	141 例	その他	15 例

▶ 呼吸器外科

肺癌	80 例 (胸腔鏡下 56例)	胸腺・縦隔腫瘍摘出術	22 例 (胸腔鏡下 14例)
その他	82 例		



病院長からのメッセージ

世界に羽ばたいていく
姿を見ることに勝る
喜びはありません

総合南東北病院 病院長

寺西 寧

Yasushi Teranishi



メッセージ

総合南東北病院の外科専門医研修に興味をもって下さりありがとうございます。当院の外科は今から34年前に、私が大学医局から消化器外科医としてたった一人で赴任して、ゼロからスタートいたしました。幸いなことにスタッフの尽力で患者数は右肩上がりに増え続け、一緒に働く外科医の仲間も少しずつ増えてきました。現在は17名の消化器外科医、5名の心血管外科、3名の呼吸器外科医を擁する大きな組織となり、まさに福島県を代表する外科医局に成長することができました。そして新専門医プログラム制度が開始され、現在4名の外科後期研修医を受け入れて教育を行っています。当院は郡山市35万人(周辺人口を含め50万人超)の医療を担う第一線の基幹病院であり、若手医師は皆、忙しくも充実した日々を過ごしています。毎週のカンファレンスで、最初は拙いプレゼンテーションをしていた後期研修医が徐々に成長し外科医らしくなっていく様を見るのはとても嬉しく感じます。また郡山は東京から新幹線でわずか1時間20分の好条件にありながら、福島県の大自然は皆様の想像以上に雄大で、勉強ばかりでなく温泉、スキー、海水浴、釣り、ゴルフなどメリハリをつけて心身をリフレッシュできる環境です。また病院の周囲には繁華街もあり当地の日本酒の種類は日本一です。福島県は東日本大震災の影響もあり医師不足は深刻な状態ですが、当院は東北地方では珍しくひとつの大学の医局に捕われず、いろいろな出身大学、研修病院を経て、志をもって入職してきた多くの外科スタッフが在籍しています。また初期研修医も全国津々浦々から集まっています。このような状況で、当院は臨床教育に多様な価値観を尊重し合うという組織運営をコンセンサスとして、風通しの良い人間関係を築いています。また外科以外の各診療科との垣根も低く、幅広い医学知識を身に付けられる病院であると自負しています。さらに、外科専門医研修プログラムの目玉は、当院を上回るハイボリュームな医療機関と連携していることです。どの連携施設で研修を行っても充実した外科医生活を送ることができるでしょう。そして他のプログラムに所属する後期研修医たちと横のつながりをつくることで、一生を通じて語り合えるたくさんの仲間ができることと思います。これから外科を志すたくさんの若者が、多様な人たちが構成されている総合南東北病院の外科医局で研鑽を積み、世界に羽ばたいていく姿を見ることができれば、これに勝る喜びはありません。ぜひ当院での研修に興味をお持ちになった方は、一度見学に来てください。

【専門医・指導医】

医学博士
日本外科学会専門医
日本外科学会指導医
日本消化器外科学会指導医



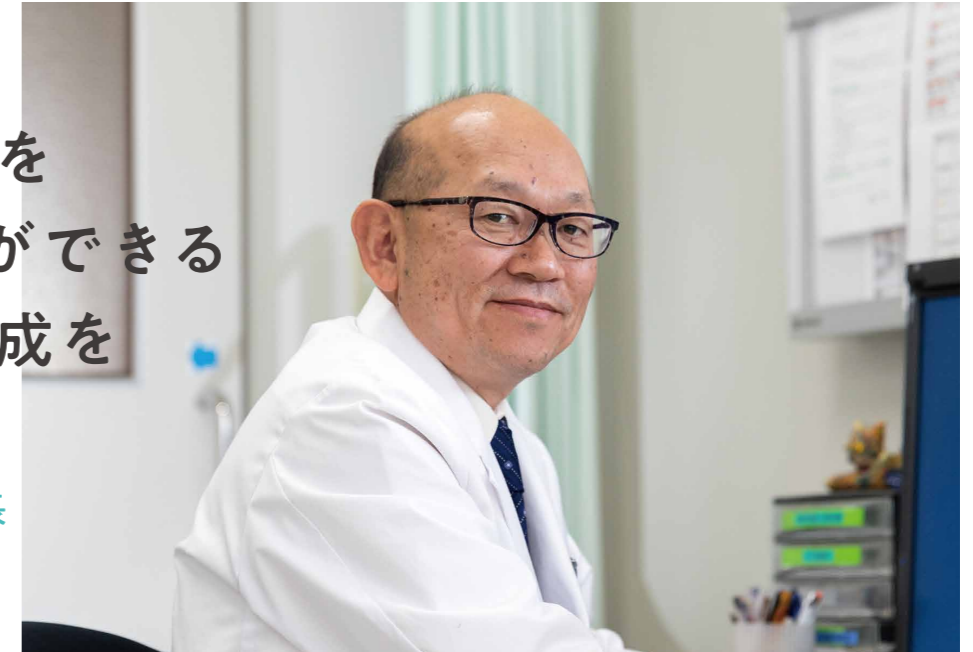
専門医研修プログラム統括責任者からのメッセージ

自分で物事を
決めることができる
外科医の育成を

総合南東北病院 副院長
消化器外科

高野 祥直

Yoshinao Takano



メッセージ

当院は福島県郡山市にあり、地域がん診療拠点病院・地域医療支援病院となっています。消化器領域では癌に対する標準治療としての手術だけでなく、様々な急性腹症に対する手術も術者として豊富に経験することができます。また、心血管外科、呼吸器外科も豊富な症例数を誇っており、診療科の垣根が低いため、一人ひとりの希望に応える形の研修ができます。他の連携施設での研修も含め、最終的には様々な人々とコミュニケーションが取れ、人に決めてもらうのではなく自分で物事を決めることができる自立した外科医の育成を目標とします。

本プログラムの特徴

当院は市中病院の強みを最大限に生かして実践的な外科教育と最先端の技術導入に力を入れてきました。福島県の外科医療を支える基幹病院として、高いレベルの手術を提供することを第一に、そして豊富な症例数を若手教育に役立てるための研修プログラム作成を行っています。現在、指導医陣は充実しており全国から様々なバックグラウンドの外科医が赴任しています。風通しの良い医局運営を心がけており、若手が安心して執刀経験が積めるようスタッフの情報共有を徹底し、後期研修医が努力に見合った成果が得られるよう皆が注意を払う環境づくりができてきていると思います。さらに全国区の有力な病院と提携しており他に類のない幅広い経験が積めるようにしています。どこにも負けないプログラムであると自負しておりますので、ぜひ一度見学にいらっしゃってください。お待ちしております。

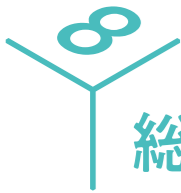
【専門医・指導医】

医学博士
日本外科学会専門医
日本消化器外科専門医
日本外科学会指導医
日本消化器外科指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医

【専門分野】

消化管全般
特に、下部消化管と
鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡手術





総合南東北病院の各専門科紹介

幅広い技術や 柔軟な思考回路を 養う

消化器外科

本多 通孝

Michitaka Honda



メッセージ

本プログラムの特徴は、なんといっても2年6か月の研修内容を自由に選択できる点にあります。しかも、研修先の選択肢は全国区の地域医療を担う拠点病院がたくさんあり、夏は北海道で、冬は沖縄で、という研修も可能です。まさに自分自身で作り上げる研修プログラムなのです。

一つの施設のやり方をしっかりと身に着けることも大切ですが、外科医の手技は多種多様ですので様々な指導医と出会い、幅広い技術や柔軟な思考回路を養うことも重要です。日々の忙しい業務に埋没してしまい目的を見失わないように、また人間関係のマンネリ化を防ぐためにも、このような幅広い選択肢を用意しました。自分で決めた研修プログラムを自分自身でやり遂げた時の達成感、外科医としての成長は、何にも代えがたいものになるでしょう。ぜひ全国に人脈を作って羽ばたいていただきたいと思います。

なお、3年間の研修を通じて、各メンターがその後のキャリアパスも含めて定期的に面談を行い、軌道修正を行っていきます。専攻医がひとりも脱落することなく、実りある研修生活を過ごされることを願っています。

消化器外科を志す後期研修医にとって、基幹施設である総合南東北病院の豊富な症例数は後期研修医が執刀経験を積む機会に恵まれています。実際、虫垂炎や胆石などの緊急手術は毎日のようにあります。このような一般外科的なトレーニングを十分に積むと同時に、将来のサブスペシャリティを意識した研修を提供することも本院の使命と考えています。後期研修医であっても、困難な悪性腫瘍症例への外科手術に参加していきます。

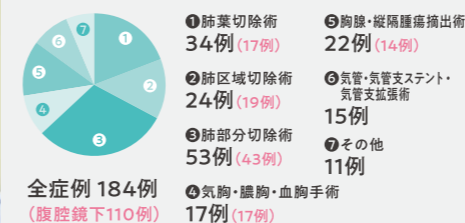
当院は東北地方でも有数の手術実績をもつがん診療拠点病院です。内視鏡外科手術、ロボット手術などの低侵襲治療のみならず、化学療法、放射線治療を含む集学的治療を積極的に行っています。難しい症例にチームで取り組み、目的を達成したときの充実感は今後の外科人生を支える大きな柱になるでしょう。上部・下部消化管、肝胆膵領域いずれも複数の専門医で指導に当たり、研修終了後には全国どここの施設に移っても活躍できる外科医を育成します。

【専門医・指導医】
医学博士
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医
日本消化器外科学会指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本食道学会食道科認定医
日本食道学会評議員
日本臨床疫学会上席専門家

【専門分野】
上部消化管・内視鏡外科手術
福島県立医科大学
低侵襲腫瘍制御学講座教授を兼任



2018年呼吸器外科手術症例



【専門医・指導医】

医学博士
日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医
日本外科学会指導医
日本胸部外科学会指導医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医

【専門分野】
呼吸器外科一般

呼吸器外科

藤生 浩一

Kouichi Fujiu



安全で、確実に、親切な 医療を担える 呼吸器外科医を育てたい

メッセージ

当院呼吸器外科は、呼吸器センター長の宮元秀昭、科長の藤生浩一、2018年4月から加わった医長の叢岳の3名体制です。2018年の実績では、呼吸器外科手術約140例、内、肺癌手術約80例です。

標準開胸での肺葉切除、完全鏡視下肺葉切除はもちろん、進行癌に対しては宮元が得意とする胸骨縦切開アプローチによる系統的縦隔リンパ節郭清にも対応しています。また叢の加入により、完全鏡視下区域切除術、気道ステントにも対応できるようになりました。さらに、da Vinci手術を見据え、胸腔鏡下胸腺摘出術にも取り組んでいます。当コースで呼吸器外科診療に必要な手技は全て習得できるものと確信しています。

また呼吸器内科との合同による気管支鏡検査では、EBUS-TBNA、EBUS-GSにも対応しています。呼吸器内科の常勤医が2名と少ないことは弱点ではあるが、この弱点を逆にチャンスと捉え、将来肺癌に対する手術を含めた集学的治療を組み立てる実力を養う機会と考えています。具体的には気管支鏡検査、CTガイド下生検を含めた診断に関わることから始まり、術前後の抗がん剤治療、免疫治療、さらには院内にある陽子線、サイバーナイフ、定位放射線などの治療機器により、全ての肺癌治療を院内で完結でき、その効果と限界を目の当たりにすることができます。肺癌診療全般に関与することにより、集学的治療のなかでの外科治療を、過不足なく行える呼吸器外科医を育てることができると確信しています。院是である「すべては患者さんのため」をモットーに、安全で、確実に、親切な医療を担える呼吸器外科医を育てたいと考えています。当院にあるPET、陽子線、サイバーナイフ、BNCT、da Vinciにより、肺癌をはじめとしたこれからの呼吸器診療のパイオニアとなるに必要な装置はすべて揃っているといっても過言ではありません。呼吸器疾患で苦しんでいる患者さんに施せる立派な医師を目指ししっかりと指導します。若い先生達の頑張る場を提供します。一緒に切磋琢磨しましょう。やる気のある医師の参加を希望しています。

一人でも多くの優秀な 心臓血管外科医育成に 邁進

心臓血管外科
緑川 博文

Hirofumi Midorikawa



メッセージ

心臓循環器センターは、センター長・菅野恵先生を中心に、循環器内科医6名、成人心臓血管外科医4名、小児心臓外科医1名と、県内では大学以外で最も充実したスタッフで、365日24時間救急も含め心臓循環器疾患に取り組んでおり、ICUの整備、人員などの工夫により緊急対応が可能な状態となっております。

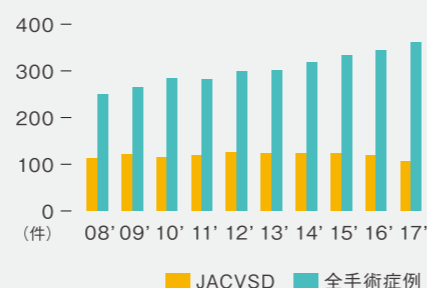
菅野先生を中心とした心臓血管外科チームの手術症例数は、年間300例以上をコンスタントに行い、昨年は372例を記録、年間400例も視野に入りつつあります。成人部門では、体外式VAD申請を行ったことで、心臓移植以外のほぼすべての疾患を網羅しております。また民間病院では珍しい小児先天性心疾患、特に複雑心奇形にも対応しております。心拍動下冠動脈バイパス術を県内で最も早くから導入し、現在でもほぼ全例をこの術式で行っています。弁膜症に関しては、よりQOLの高い治療法をその患者さんの病態や全身状態に合わせ、弁形成および弁置換を行っており、必要性が高ければ心房細動に対するMaze手術も行っており、昨年3D心エコー装置の導入もあり、さらによりよい手術成績に貢献しようものと考えています。

大動脈瘤治療は、年間100例以上行っており、東日本で有数な施設です。従来の外科手術に加え、より低侵襲治療であるステントグラフト治療を積極的に施行し、アジア地区初の導入でありZiehm Vision RFD(可動式フラットパネル血管造影装置)を手術室に導入し、現在2機の血管造影装置を手術室に備え、緊急手術にも対応しえる設備となっております。末梢動脈疾患に対しても、従来の外科手術に加え、ステント治療を中心としたカテーテル治療も積極的に施行し、末梢血管のためのステントグラフト、内腸骨動脈再建ステントグラフトIBEも東北では先駆けて臨床使用を開始しております。

【専門医・指導医】
医学博士
3学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定
心臓血管外科専門医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本脈管学会脈管専門医
日本外科学会外科専門医
日本胸部外科学会終身指導医

【専門分野】
成人心臓血管外科

2008年~2017年次手術症例数推移



後期研修医の声

研修医も自由に発言できる
のびのびとした環境

心臓血管外科
影山 理恵
Rie Kageyama

メッセージ

とにかく楽しい病院です。もちろん忙しくて目が回るようなこともあります。が、若手は落ち着いて勉強する時間がきちんと確保できるように指導医の先生が配慮してくれます。研修医も自由に発言できるのびのびとした環境で、楽しく、バリバリやりたい人、ぜひ一緒に働きましょう。



【卒業年】2016年 【出身大学】獨協医科大学
【後期臨床研修】総合南東北病院

ジュニアメンターの声

呼吸器の各科が揃っており
治療手段が多彩に学べる

呼吸器外科
叢 岳
Cong Yue

メッセージ

呼吸器外科に関わる各科が揃っており、治療手段が多彩に学べます。中枢病院として肺癌のみならず、良性腫瘍から炎症性・感染性肺炎患、気道関連の外科治療も行えますので、応用力のある経験が得られます。



【卒業年】2012年 【出身大学】群馬大学
【後期臨床研修】亀田総合病院

生え抜きとその他の医師の
バランスが魅力

外科
小鹿山 陽介
Yousuke Ogayama

メッセージ

私が感じる当院の魅力は、指導医となる生え抜きの医師とその他の医師のバランスにあると思います。前者はこの病院での外科のキャリアをスタートした自身の良きモデルケースとなり、後者はローカルルールに陥りがちな市中病院での研修に新たな視点をもたらしてくれます。



【卒業年】2016年 【出身大学】帝京大学
【後期臨床研修】総合南東北病院



カンファランス



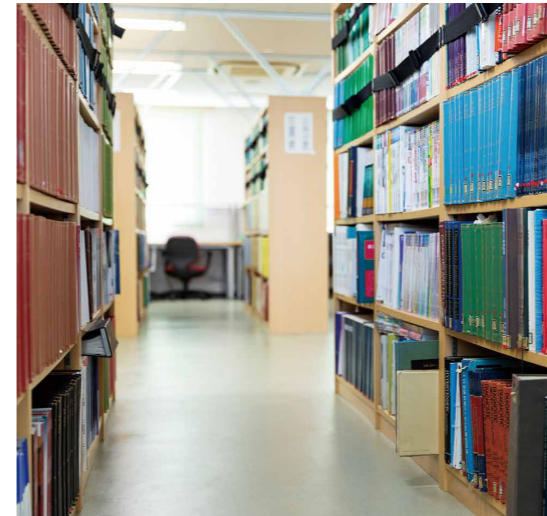
カンファランスは院内全体のもの、領域・臓器別、診療科別にそれぞれ行っており、専攻医は積極的に参加しプレゼンテーションを行います。治療方針の決定に対しても積極的に発言できる場になっています。

1週間のカンファランススケジュール例(基幹病院:南東北病院 消化器外科コースの場合)

	月	火	水	木	金	土	日
7:30	朝回診・透視検査・処置など						
AM	全体ミーティング	術後カンファ	上部消化管カンファ	多職種カンファ	症例検討会	当番制 処置・病棟・救急外来当番	
	手術	手術	手術	手術	外来		
PM	手術	手術	手術	手術	外来		
	夕回診	夕回診	夕回診	夕回診	夕回診		
その他	下部消化管カンファ		消化器 がんサーボード		レクチャー		
	領域別がんサーボード						



教育環境・学会発表、論文指導について



手術開始までに、病棟業務を一通り終わらせることで全員が日中は手術室に入り、学べる環境を作ることを心掛けています。交代制で病棟当番をおこなっていますがコールは少ないです。日中は手術に専念できる環境です。またシミュレーターによる内視鏡外科手術のトレーニング、若手によるビデオクリニック(自分の手術ビデオを振り返り検討するカンファ)を不定期に開催しています。年に1回、アニマルラボトレーニングを実施します。

標準的な専門書、手術書などに十分に蔵書されています。和文・英文ともに外科領域のオンラインジャーナルを多数契約しています。また文献の取り寄せも可能です。症例報告のみならず、意欲があれば英文原著論文の執筆にも挑戦できます。将来的に学位取得・大学院進学を検討している専攻医は、連携する大学および総合南東北病院に設置されている大学寄付講座の枠組みで外科研修とキャリアパスの両立を目指すことも可能です。希望者は早めにご相談ください。



外科医に必要なコアコンピテンシー

外科医に必要な
コアコンピテンシー

態度 倫理性 社会性 などの習熟

医師として必要なコアコンピテンシーとして「態度」、「倫理性」、「社会性」などの習熟が含まれています。医師としての責務を自律的に果たし信頼されること(プロフェッショナリズム) 医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技能および態度を身につけます。患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること、患者の社会的・遺伝学的背景もふまえて患者ごとに的確な医療を目指します。医療安全の重要性を理解し事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。臨床の現場から学ぶ態度を習得すること、臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し、その方法を身につけます。



チーム医療の一員として行動すること

チーム医療の必要性を理解しチームのリーダーとして活動します。的確なコンサルテーションを実践します。後輩医師に教育・指導を行うこと 自らの診療技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。保健医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること 健康保険制度を理解し保健医療をメディカルスタッフと協調し実践します。医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。診断書、証明書が記載できます。



専門医研修の評価・フィードバック



プログラム管理委員会

```

    graph TD
      PM[プログラム管理委員会]
      RPS((研修実績管理システム))
      S((指導医))
      R((専攻医))
      JM((ジュニアメンター))

      S -- 専攻医評価 --> RPS
      RPS -- フィードバック --> S
      S -- 指導 --> R
      R -- フィードバック --> RPS
      RPS -- 指導医評価 --> S
      JM -- 提案・提言 --> S
      JM -- サポート --> R
  
```

研修実績管理システム
 外科領域においては、研修実績管理システム（オンライン）を用いて運用します。研修実績管理システム上で、専攻医と指導医が評価・フィードバックを行います。また、プログラム委員会においてもその結果に介入し、必要に応じて専攻医・指導医に対して指導・助言をしながら改善を図ります。

筆記テスト
 専門医研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標に基づいた筆記テストを行い、達成度を確認します。その結果に基づき、専攻医に対して指導・助言をしながら改善を図り、確実な専門医試験合格をサポートします。

ジュニアメンター
 各専攻医には指導医とは別に、志望進路や年次の近い外科専門医取得者をジュニアメンターとして配置します。専攻医に寄り添い、研修生活をサポートします。また、必要に応じて指導医に指導体制に対する提案・助言をします。

プログラム管理委員会



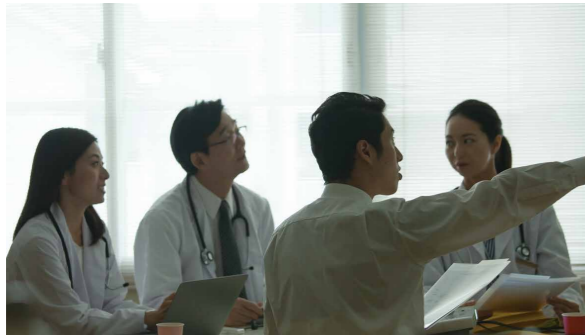
基幹施設（総合南東北病院）に専門医研修プログラム統括責任者および管理委員会を設置します。連携施設群には、専門医研修プログラム連携施設担当者と専門医研修プログラム委員会組織が置かれます。本プログラム管理委員会は、専門医研修プログラム統括責任者（委員長）、副委員長、事務局代表者、外科の3つの専門分野（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科）、および連携施設担当委員などで構成されます。研修プログラムの改善へ向けての会議には専門医取得直後の若手医師代表が加わります。専門医研修プログラム管理委員会は、専攻医および専門医研修プログラム全般の管理と、専門医研修プログラムの継続的改良を行います。

専攻医の就業環境について



- ① 専門医研修基幹施設および連携施設の外科責任者は専攻医の労働環境改善に努めます。
- ② 専門医研修プログラム統括責任者または専門医研修指導医は専攻医のメンタルヘルスに配慮します。
- ③ 専攻医の勤務時間、当直、給与、休日は労働基準法に準じて各専門医研修基幹施設、各専門医研修連携施設の施設規定に従います。

修了判定



3年間の研修期間における年次毎の評価表および3年間の実地経験目録にもとづいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、専門医認定申請年(3年目あるいはそれ以後)の3月末に研修プログラム統括責任者または研修連携施設担当者が研修プログラム管理委員会において評価し、研修プログラム統括責任者が修了の判定をします。

採用について

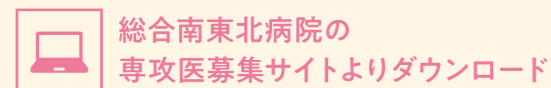
採用方法

総合南東北病院外科専門医研修プログラム管理委員会は、毎年7月から説明会等を行い、外科専攻医を募集します。プログラムの応募者は研修プログラム責任者宛てに以下の①～④の書類を提出してください。書類選考及び面接を行い、採用を決定して本人に通知します。応募者及び選考結果については総合南東北病院外科専門医研修プログラム管理委員会において報告します。

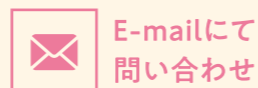
必要書類 (各1通)

- ① 願書(申請書) 申請書の入手方法は下記をご覧ください。
- ② 履歴書 写真貼付してください。
- ③ 医師免許証写し 当院で卒後臨床研修を実施中の方は提出不要です。
- ④ 研修修了証明書 修了していない場合は研修終了見込証明書をご提出ください。

申請書は下記のいずれの方法でも入手可能です。



URL <http://resident.minamitohoku.or.jp/senmon/index.html>



ADDRESS kensyu@mt.strins.or.jp

<研修開始届け>

研修を開始した専攻医は、各年度の5月31日までに以下の専攻医氏名報告書を、日本外科学会事務局および外科研修委員会に提出します。

- ・専攻医の氏名と医籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- ・専攻医の履歴書(様式15-3号)
- ・専攻医の初期研修修了証

<修了要件>

日本専門医機構が認定した外科専門研修施設群において通算3年(以上)の臨床研修を行い外科専門医研修プログラムの一般目標、到達(経験)目標を取得または経験した者。(専攻医研修マニュアル参照)

施設群の紹介

基幹施設



陽子線センター 回転照射室



手術支援ロボット ダヴィンチXi



X線血管撮影装置

一般財団法人 脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院

住所: 〒963-8563 福島県郡山市八山田七丁目115番地

病床数: 461床

NCD症例数: 1611件(2017年)

職員数: 2,163名

医師数: 152名

指導医数: 13名

統括責任者: 高野 祥直

1日平均外来患者数: 1,615名

年間入院患者数: 182,971名

年間外来患者数: 474,779名

年間手術件数: 8,069件

年間救急車台数: 5,649台

年間救急外来患者数: 19,179件

特徴

福島県の県中地区である郡山市の中核病院です。地域医療支援病院であり、総合病院として様々な診療科を展開し地域の医療に貢献する一方、先進医療機器(陽子線治療・BNCT・サイバーナイフ・ダヴィンチ)を積極的に導入し、全世界に向けて高度先進医療を提供しております。がん診療連携拠点病院として各科が連携し、高度ながん治療を実践しており、経験豊かな専門医師のもとに全国から患者が集まっています。

東京駅⇄郡山駅間は新幹線で約80分、大阪空港⇄福島空港間も飛行機で65分とアクセスも良好です。

提携施設①

手稲溪仁会病院

住所：〒006-0811 北海道札幌市手稲区前田1条12丁目1-40

病床数：670床

NCD症例数：1,946例

指導医数：10名

(肝胆膵外科高度技能指導医1名、肝胆膵外科高度技能専門医1名、
食道外科専門医2名、内視鏡外科技術認定医6名)



特徴

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、救命救急センター、ドクターヘリ基地病院、地域災害拠点病院、
日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設A、日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、
日本乳癌学会認定施設

- ・手術室15室(腹腔鏡専用室2、ハイブリッド手術室2)
- ・救命救急センター30床で、緊急手術多い。
- ・手術症例数が豊富、毎日が手術日で、3～4室、並列で手術。専攻医の執刀多い。
- ・癌拠点病院であり、年間：大腸癌230例、胃癌100例、食道癌30例、肝胆膵の腫瘍150例、肺癌100例。
- ・内視鏡下手術に幅広く適応(胃全摘、膵体尾部切除、肝切除、食道切除、大腸)
- ・多くの疾患をERASで管理(胃、大腸、肝、胆、膵)

亀田総合病院

住所：〒296-8602 千葉県鴨川市東町929番地

病床数：917床

NCD症例数：2,689例

指導医数：15名

専門研修指導責任者：草薙 洋



特徴

房総半島の太平洋に面した地域(外房)にある総合病院です。
病床数が900床強に対し医師数は400人強と一般的な総合病院としては医師数が多く、全科において充実した指導体制を構築して
います。
外科では20年前から後期研修医を毎年複数名採用し、early exposureを意識した教育を実践しています。

提携施設②

麻生飯塚病院

住所：〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83

病床数：1,048床(一般病床：978床)

NCD症例数：2,240例

職員数：合計約2,400名

医師数：約300名

指導医数：15名

看護師：約1,100名

医療技術者：約550名

事務他：約500名

診療科：40科、2部(救急部、集中治療部)

専門研修指導責任者：古賀 聡



特徴

飯塚病院は41万人の福岡県筑豊地域の中核病院です。多数の診療科を擁し、多くの基礎疾患を持たれている患者さんに対しても、複
数科が連携して高度なチーム治療を提供しています。また「がん診療連携拠点病院」として、多くのがん患者さんの手術や抗がん剤治
療を行っており、手術症例数は、九州でも常にトップクラスの実績を誇っています。

豊富で多彩な外科系症例が集まることから、これまでも外科専門医やサブスペシャリティ領域専門医の修練施設としての非常に大き
な役割を果たしてきました。また、筑豊地域では唯一の3次救命救急センターを併設しており、年間約420例(内訳：外科約300例、呼
吸器外科約10例、心臓血管外科約90例、小児外科約25例)の緊急手術症例を含む多くの外科系救急患者の診療を経験できます。
研修内容は可能な限り専攻医のみなさんの希望に沿って検討しますので、当院での連携施設研修に興味のある方はお気軽にご相談
ください。

【NCD登録症例総数 年間約2,200-2,300例】消化管・腹部：約1,100例 乳腺：約150例 呼吸器：約300例
心臓・大血管：約300例 末梢血管：約150例 小児外科：約150例

総合南東北岩沼病院

住所：〒989-2483 宮城県岩沼市里の杜一丁目2-5

病床数：271床

NCD症例数：553例

指導医数：4名

専門研修指導責任者：吉野 泰啓



特徴

救急指定病院、地域災害拠点病院、宮城DMAT指定病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医制
度指定修練施設、日本消化管学会胃腸科指導施設

東北の中心都市仙台の南約17km、夏は涼しく、冬は暖かい過ごしやすい気候

交通の便が良好(仙台空港から車で15分、仙台駅からJRで20分、4号国道と6号国道が合流する交通の要所)

NCD登録症例数約500例。うち大腸癌40例、直腸癌20例、胃癌20例、胆嚢摘出100例、鼠径ヘルニア100例、虫垂切除50例前後。
その他(乳腺、甲状腺、呼吸器、小児)50例前後。腹腔鏡手術、胸腔鏡手術を積極的に行っており、NCD登録症例数の80%以上が鏡
視下手術、特に大腸直腸切除、肺切除、胆嚢摘出、虫垂切除、ヘルニア手術はほぼ全例鏡視下手術。(胃切除、胃全摘はほぼ半数が腹
腔鏡下手術)

地域住民の方々に急性期から在宅までを担う医療・看護・介護を提供している「完結型施設」として、地域に密着した医療を目指して
いる。大学病院などの大病院では専門医養成を目的とするが、当院ではそのみでなくgeneralist養成をも目指す。すなわち、消化器
疾患だけでなく甲状腺、乳腺、呼吸器、小児領域全ての外科研修が可能。癌患者においては、その初診から診断、治療(手術、抗癌剤
治療)、緩和～在宅治療、看取りまですべてを外科医が担当する。大病院とはひと味違った研修が可能。

提携施設③

須賀川病院

住所：〒962-0022 福島県須賀川市丸田町17
病床数：114床（一般病床：114床）
NCD症例数：126例（心臓血管外科領域）
指導医数：2名
専門研修指導責任者：佐藤 晃一



須賀川病院は、循環器に特化した病院であり、心臓血管外科、循環器内科の垣根を越えた循環器疾患治療を行っております。心臓血管外科においても最新のカテーテル治療を導入しており、今後外科医が必要とする血管治療手技を習得しやすいです。

特徴

獨協医科大学病院

住所：〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880
病床数：1,195床（一般病床：1,153床）
NCD症例数：2,365例（2017年）
指導医数：22名
専門研修指導責任者：窪田 敬一



当院は栃木県南から日光地区をカバーしており、特定機能病院、がん診療連携拠点病院の指定を受けています。大学病院の使命である高度な医療の提供のほか、地域柄、救急症例の拠点ともなっていることから、高難度手術からcommon disease、救急症例まで幅広く経験できます。

第一外科（上部・下部消化管、小児外科）、第二外科（肝胆膵移植、下部消化管）、心臓・血管外科、呼吸器外科の4科のほか、乳腺センターも加えて各分野でトップクラスの症例数を誇っており、外科医のキャリアをスタートするのに最適な環境を提供できると自負しております。

特徴

提携施設④

北海道大学病院

住所：〒060-8648 北海道札幌市北区北14条西5丁目
病床数：908床（一般病床：838床） NCD症例数：1,812例
指導医数：41名 専門研修指導責任者：松居 喜郎



福島県立医科大学附属病院

住所：〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
病床数：778床（一般病床：713床） NCD症例数：1,707例
指導医数：33名 専門研修指導責任者：木村 隆



南東北福島病院

住所：〒960-2102 福島県福島市荒井北三丁目1番地の13
病床数：205床 NCD症例数：166例
指導医数：2名 専門研修指導責任者：藤田 康喜



総合東京病院

住所：〒165-8906 東京都中野区江古田3-15-2
病床数：451床 NCD症例数：393例
指導医数：5名 専門研修指導責任者：羽生 信義



新百合ヶ丘総合病院

住所：〒215-0026 神奈川県川崎市麻生区古沢都古255
病床数：497床 NCD症例数：943例
指導医数：5名 専門研修指導責任者：田辺 義明



大分大学医学部附属病院

住所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
病床数：618床（一般病床：588床） NCD症例数：1,173例
指導医数：23名 専門研修指導責任者：杉尾 賢二



院内・サービス施設など

職員宿舎



絆ガーデン

住所：〒963-8052 福島県郡山市八山田七丁目10
南東北BNCT研究センター内
TEL:024-934-5335
FAX:024-934-5384

概要

「絆ガーデン」は、南東北グループ職員が一般財団法人脳神経疾患研究所の附属施設(以下、「当院」という)での研修や診療応援、出張等の為に提供する職員宿舎です。また、研修等で使用しない場合の空室は遠方より通院する患者さんやそのご家族、入院中の患者さんのご家族などもご利用いただけます。

レストラン



ボンジュール

住所：〒963-8052 福島県郡山市八山田七丁目10
南東北BNCT研究センター 1F
営業時間：11時00分～15時00分 / 17時00分～20時00分
※日曜定休、ディナーは完全予約制

概要

太陽の日差しが差し込む落ち着いたレストランで、シェフ自慢の本格フレンチコースやイタリアン、和食がお楽しみいただけます。

事業所内保育所



南東北こども学園

住所：〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池55-5
TEL:024-926-0909
入園定員200名 平成29年4月1日開園

概要

南東北こども学園は、一般財団法人脳神経疾患研究所が運営する企業主導型保育事業 事業所内保育所(認可外保育施設)になります。

小学校就学前までの子どもの保育(病児保育含む)を行い、日中に加え休日や夜間も含め24時間365日子どもをお預かりしております。

対象年齢：産休明けから小学校就学前の乳幼児

保育料：0歳児～2歳児	月額33,000円
3歳児	月額26,000円
4歳児以上	月額25,000円

※給食・おやつについて、0歳児～2歳児までは月額料金に含み、3歳児以上は、別途徴収(1食150円)。

